

パンタナール通信

南北米福地開発協会

会報

2009年3月1日

66号



会員の親睦会を兼ね、今年は全体集会とともに新年会を二月十五日に持ちました。午前中は桜井先生の講話、昼食後、ビンゴゲームならびにカラオケ大会を行いました。

今年度は左記の件を強化する事を確認する。

南北米福地開発協会の会員化

南米植林活動の勧め

セミナーを通しての教育の充実

国際協力青年ボランティア隊支援

レダ開発のための情報収集

レダ開発一〇〇九年

バイオディーゼル製造のためジャトロファの栽培の
継続的な研究（特に鳥害対策と搾油）

地球に酸素を供給するための「ニームの木の植林
(レダならびにインディヒナ居留地での森林の再生)
地球飢餓問題対策の一環としてのモリンガ植樹と王
リンガの製品作りと販売網の形成（アメリカを中心に
食糧自立のための農業政策）

牧畜の事業化

自然保護林の登録とエコツーリズムの準備

スペインの
NGOと協力し貧

困对策プロジェクト
の実施と国

際協力青年奉仕

隊派遣

レダにおける
教育、研修（パ

ラグアイと南米
の会との連携）



モリンガとニームの製品化のため尽力を尽くすアメリカ在住の清野社長と柴沼事務局長



2009.2.11 文と写真：飯野貞夫



、トウココの群来る！

第三、四の橋が完成してから本格的雨が初めて降り、又工ボに
つながる支流から勢いよく橋の下を水流がくぐり抜けて行きま
す。運河方式が功を奏して、凄まじい水圧が分散され、橋は泰
然としているようです。その水に小魚が沢山押し流されて、橋
の下流の大湿地帯草原へと運ばれて行きます。それをトウユ
の群が待ち構え、そうめん流しのように小魚をついてばんに行
ります。水と餌の有るところに動物はやつてくることがよく分か
ります。こうして数百羽が群ながら互いの相手を探し合い、や
がて夫婦となつて繁殖をして行くのです。



木々は倒れそうになるかと思うほどに揺れに揺れ、道路は砂塵を上げて激しく突風が駆け抜け、たちまち空は暗雲が押し寄せ、稻光が走り、雷鳴が交響曲「運命」のように轟き、土砂降りの雨が降り出しました。かと思うと秋雨のようにシトシトと囁くような雨が降りました。雨季にしては余り降らなかつた一ヶ月でしたが、二月六日（金）から十（火）まで四日にわたり止んたりしながら、結局九十二mmの雨量でした。今て一回は雨で起こつた三つの出来事を報告します。

、プール大清掃！

この一ヶ月ほどプールの水が濁りはじめ、中田所長、小田先生も真剣に取り組んで浄化装置システムの点検や、水を浄化する様々な努力をしてきましたが、薄緑色のお茶のような色が濃さを増してきて、いつものあの美しい透明な水に戻りません。雨季に雨が少ないためか、野焼きが頻繁に北でも東でも南でも近隣で成され、沢山灰が降つて来ていたことも影響があるのかわかりませんが、自然環境と観光に力を入れようとしているルゴ大統領が日々来園されるかも知れないという情報があるような時期ですから、今回の雨上がりを機に、数年ぶりに六〇〇トンの水の総入れ替えを決断しました。

全ての水を抜き、プールの壁や底をデッキブラシで洗いまくり、大量の水作り作業を成すには、二週間以上かかるのを一週間以内で仕上げてしまう計画で、担当の小田・綿貫先生に三石先生も助つ人として加わり、労働者と共に汗を流しました。



右端から綿貫、労働者、三石、小田、
以下労働者の各氏！

、トウモロコシの芽が出た！

大山先生たちによって第四農園のジャトロファの間に一列の畝を作り、2／3に三十cm置きに撒かれたトウモロコシの種がこの四日間の雨の中に発芽し、一斉に美しい姿を顕しました。七十三mの畝が八列作られていました。この種はまだ一世です。農業担当してきた中田所長も、今まで沢山のトウモロコシ作りをこのレダで経験していますが、二世、三世の種を使う研究を進めていて、世代が進むごとにこの地にあつた逞しい豊かに収穫できるトウモロコシを目指しています。



すだれ完成！

食堂の入口脇、窓からの西日が強く、食器をどうたり、食事をとつたりする時にそれを殊の外強く感じ、何とかしたいな、と反省会で話題になった時、「昔、子供のころ、炭俵を編んだことがあるので、作りましょうか」と大滝さんが言われ、炎天下植樹園での作業が心臓にきつい時に、代わりにこの作業なら体調を整えながらやれるということも合わせて、「一サインが出ました。食堂から海軍警備所の間にある池の周りに沢山の黄色い花が咲く草のような水草が一m位に伸びて群生していました。その一部を二日掛かりで刈り取り、その茎を百四十cmほどの長さに切って揃え、何日間か天日干しをしてまず材料を作りました。一方、労働者カルロに手伝つてもらって、思い出しながら、二日掛かりで昔ながらの「すだれ編機」を材木で造り、編む糸をアシンションから取り寄せ、準備完了、二日半かかって百四十(横)×百五十(縦)cmのすだれを一枚見事に編みあげました。



会社報告（柴沼記）

レダで植えていいるニームの製品化研究のため

二月五日の朝、久留米にてニームを使って石鹼を製造している『まるは油脂化学株式会社』を訪問しました。一切化成したものは使わず、自然の石鹼を作つて七〇年の歴史を持つ会社で、小さな企業ですが自社製品とともに四〇社から依頼を受けて製品を製造しているとのことでした。

ニームを入れた石鹼は4年ほど前から大分の方からの依頼で作り始め、原料の葉はベトナムからのものとのことでした。製造過程において原料によつて製造の仕方が微妙に異なり、石鹼の適度の固さ、滑らかさを引き出す技術は会社の公にできない特許的なものと詳細には話をしてはくれませんでしたが、石鹼を製造するのであればミニチュアの窯と攪拌するモーターなどは販売しているとのことでした。

六日にはレダにてバイオジーゼル製造のため、ジャトロファを植え採つて種を探つていますがその種の中にある油を効率的に榨油するための機械を鈴木京一社長が作つて下さつています。レダから送つたジャトロファの種を使つて、改良を重ねております。熱意を持って下さつて下さい。



左から、中田夫人、ファセティ夫妻、柴沼、中田氏、西脇夫人

一月十日、パラグアイから日本を訪れていました。

パラグアイ初代環境大臣夫妻に帝国ホテルにて会いました。

アンサンションの佐野事務局長が自然保護区の事で会い、今後、パラグアイにおいて植林活動、インディヒナ問題をなすにあつて、色々、アドバイスを受けること

が出来るのではと思ひます。

アンサンションでは佐野さんが先日、国連で行つたレダの内容を説明し、その内容をスペイン語に直して渡しました。

その内容のパワーポイントを持つてスペインにその後、すぐ行かれスペインの政府関係者ならびにNGOの関係者に南北米の説明をして下さった。

南北米の活動の報告を見て、この団体であれば信用が出来るととても喜んでおられたと話をしておりました。

ピースライフセミナーの開催案内

日程。

五月四日、五日

場所。

川崎市民プラザ

先回、一月十七一十八日、川崎市民プラザで行われたセミナーは大変、好評で、参加した多くの方が是非、次回は

友人、知人に紹介したいとの事でした。

参加人数が会場の関係で五十名ですので参加希望者は早めに事務局に申し込みください。

南北米福地開発協会「年度の予定
環境セミナー」

三月二十一日 大山ふるさと会館
午後二時より

(費用 一千円資料代含む)

（費用 一千円資料代含む）

南北米福地開発協会 事務局
〒二二二三一〇〇〇一
神奈川県川崎市高津区
溝口二丁目一十五

岩崎ビル四F

電話 ○四四一八一九一一八二一
FAX ○一七七六八〇四七一

会費納入 一〇一八 郵便口座
行方不明 ハ一九一二八一〇

代表 柴沼邦彦

E-MAIL office@asd-nsa.jp

ホームページ

<http://www.asd-nsa.jp>



新年会で講話する桜井副会長